

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第514号(平成26年1月29日発行)

【今週号の主な内容】

- 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません
- 《RPPC・広報部会からのお知らせ》
  - ★リサイクルポート講演会のご案内
- 《リサイクルポートに関する最新の情報》
  1. 自民党の港湾議員連盟、第4回総会開催
  2. 国際コンテナ戦略港湾政策推進委が最終まとめ
  3. 太田国土交通大臣が大井CTなど東京港を視察

-----  
《RPPC 会員からのお知らせ》

三池港(大牟田市)から、『リサイクルポート講演会のご案内』を頂きましたので、  
会員の皆様にお知らせします。

記

日 時：平成26年1月31日(金) 15:00～16:30  
場 所：大牟田市エコサルクセンター 3階会議室  
演 題：リサイクルポートのビジネスモデルと酒田港の取組  
講演者：株式会社 酒田港リサイクル産業センター  
代表取締役 加賀谷 聡一 氏

以上

\* 詳細は添付の資料をご覧ください。

-----  
《リサイクルポートに関する最新の情報》

1. 自民党の港湾議員連盟、第4回総会開催

自由民主党の港湾議員連盟(望月義夫会長)は1月22日、党本部で第4回港湾議員連盟総会を開いた。国土交通省から26年度港湾関係予算及び税制改正について説明を受けると共に、我が国の港

湾振興に繋がる施策や今後の取組方針などについて意見、要望した。当日は国土交通省港湾局関係者のほか、関係団体として日本港湾協会、日本港湾空港建設協会連合会(日港連)、港湾関係地方自治体からも関係者が出席した。

総会開催にあたって望月会長は、「平成 26 年度港湾関係予算は公共事業の平均を上回る前年度比 1・02 倍という額を確保することが出来た。また税制についても作業船の買換特例が内航海運なみに認められることになった。これは非常に画期的なことで、皆様の活動がこのような形で成果に結びついたことは誠に嬉しい」と挨拶した。

議事では 26 年度港湾関係予算及び税制改正について山縣港湾局長が概要を説明するとともに、鬼頭・日本港湾協会理事長、川嶋・日港連会長が予算の確保や税制改正の成果に感謝を表した。

#### 【港湾空港タイムス】

### 2. 国際コンテナ戦略港湾政策推進委が最終まとめ

国土交通省は 1 月 20 日、国際コンテナ戦略港湾施策を深化、加速するための基本的な方向性等を検討してきた「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会(座長・野上国土交通副大臣)」の検討結果を最終とりまとめとして公表した。集貨、創貨、競争力強化に向けた個別施策を示した内容になっており、統合する港湾運営会社の体制のあり方として、港湾運営会社に国が出資する制度の創設等を盛り込んでいる。このほか高規格コンテナターミナルの整備、背後立地保管施設の建設・改良への無利子貸付制度創設なども個別施策として掲げている。

#### 【港湾空港タイムス】

### 3. 太田国土交通大臣が大井CTなど東京港を視察

太田国土交通大臣は 1 月 23 日、東京港を視察した。視察に併せて大井ふ頭コンテナターミナルで東京都、東京港埠頭(株)、東京港運協会の関係者らと意見交換し、国際コンテナ戦略港湾の取組みを推進していく考えを示した。

この中で太田大臣は、創貨、集貨、競争力の強化が重要な課題とし、「港湾運営会社の国出資等に係る内容については東京港関係者、都議会とも相談しながら詰めていきたい。東京港、京浜港を大きく発展させ、いつまでも釜山や上海、香港、シンガポールの後塵を拝する流れを変えなくてはならないと強く思っている。今回の視察を踏まえ、様々な施策を具体的に前進させていく」と語った。

#### 【港湾空港タイムス】

#####  
発行者:RPPC 広報部会

部会長:徳田 英司 新日鐵住金(株)  
部会員:細貝 隆司 五洋建設(株)  
堀江 良彰 東京都  
加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター  
紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)  
担当:首藤、森谷、大矢、本野、鈴木 URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたら  
ご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####